

～私たちの活動～

市立依知中と市立戸田小で環境学習支援

太陽エネルギーに驚きと実感

神奈川県学校派遣事業の一員である私たちの会では、厚木市立依知中学校と厚木市立戸田小学校から、平成 21 年度の環境学習の支援を依頼され実施しました。

市立依知中

9 月 23 日（日）10 時～11 時に実施しました。この日は夏休みの生徒会活動日ということです。まず、学校の周囲の道路の草取りをした後、私たちをはじめ、市内のボランティアからいろいろなことを学ぼうということでした。

私たちの「ソーラークッカーを作ろう」を希望した生徒は 31 名で、当会の参加者は 3 名でした。

教室は工作室で、モノづくりのための工具や材料などが豊富にそろえられているのに感心しました。

黒板には鏡による光の反射の説明図が描かれ、これを勉強中だということが分かりました。ソーラークッカーは放物面鏡で、太陽エネルギーを焦点に集めるので、光の反射を勉強している中学生には参考になったのではないかと思います。

中学生である生徒たちはハサミさばきがはやく、たちまち直径約 35cm のソーラークッカーを組立てました。時間の関係で、これを利用したクッキングは後でやってもらうことにして約 50 分で終了しました。



ソーラークッカーの製作

市立戸田小

10 月 27 日（火）9 時 40 分～12 時 20 分に環境学習支援をしました（児童：5 年生 63 名、当会の参加者：6 名）。



みんなでふかしイモを試食

食べてもらいました。太陽エネルギーで、ゆで卵やふかしイモができることに、みんな驚くとともに感心していました。

まず、アルミ箔を貼りつけたボール紙製の型紙に描かれたソーラークッカーの部品を切り出します。そして組立て完成します。

茶筒大の黒い缶に生卵を入れ、自分のソーラークッカーにセットして、晴 の太陽に向けて約 40 分間静置しておきます。実用の直径約 85cm のソーラークッカーにもサツマイモを入れた黒いなべと一緒にセットしておきます。この間に地球温暖化について、プロジェクターを使って Q&A 形式の学習をしてもらいました。

学習後に、ふかしイモを試食し、自分達のゆで卵も

（藤田 実）